

産業常任委員会の記録

(ふるさと創生課)

招 集 年 月 日	令和6年3月5日(火)
招 集 の 場 所	松野町議会議場
開 会	3月8日(金) 午前10時24分
閉 会	同 上 午後11時47分
出 席 委 員	安西 博文、山崎 匡、加藤 康幸、森岡 健治、赤松 紀幸、 山石 恭助、山田 寛二
欠 席 委 員	
付 議 事 件 説 明 の た め 出 席 し た 者 の 職 氏 名	町長 坂本 浩、副町長 八十島 温夫 課長 井上 靖、課長補佐 石田 和弘、課長補佐 土居 孝二郎
職 務 の た め 出 席 し た 者 の 職 氏 名	議会事務局長 大谷 吉廣、書記 岡崎 智恵子
付 議 事 件	1 議案第12号「令和6年度松野町一般会計予算」

<p>安西委員長</p>	<p>議案第12号「令和6年度松野町一般会計予算」、ふるさと創生課所管分の審査を行います。</p> <p>担当課長に説明を求めます。</p>
<p>井上課長</p>	<p>それでは、議案第12号、令和6年度松野町一般会計予算の説明に先立ちまして、予算案の策定方針である令和6年度業務計画を説明いたします。</p> <p>別冊の令和6年度業務計画の7ページをお開きください。</p> <p>ここでは、本委員会の所管となっている商工観光分野について、ご説明いたします。ただ、ふるさと創生課において、商工観光分野と企画分野の業務は密接に関連しており、本委員会に該当しない部分についても、説明が若干触れることをあらかじめご承知おきください。</p> <p>～ 業務計画に基づき説明 ～</p> <p>続いて、議案第12号、令和6年度松野町一般会計予算のうち、ふるさと創生課分について説明いたします。</p> <p>予算書の75ページをお開きください。</p> <p>まず、5款1項1目の労働諸費は、当面の実施事業はありませんが、科目存置として需用費1千円を計上しているものです。</p> <p>予算書86ページをお開きください。</p> <p>7款1項1目商工総務費は、14,380千円の予算額で、前年度比2,346千円の減額計上となっております。</p> <p>内訳は、職員の人件費のほか、消費者行政相談窓口の開設にかかる経費です。国の消費者行政の方針に沿って、国の資格を有する非常勤の相談員を鬼北町、愛南町と本町の3町で配置しています。</p> <p>予算書87ページをお開きください。</p> <p>次に、2目商工振興費は、21,771千円を計上しており、前年度比1,616千円の減額計上となっております。</p> <p>予算の内訳は、12節委託料には、DXによる移住体験×関係人口</p>

増加プロジェクトに1, 112千円森の国創業支援・物産振興キック
オフ事業に委託料2, 200千円を計上しています。

それでは、DXによる移住体験×関係人口増加プロジェクトについ
て、別途資料にて説明いたします。

別途資料1ページをお開きください。

～ 別途資料1～3ページを説明 ～

予算書に戻ります。

18節負担金補助及び交付金の主なものにつきましては、商工会補
助金として、7, 000千円、中小企業の制度資金の利子補給補助金
は2, 108千円、都市部の若者が働きながら田舎暮らしを体験する、
DXによる移住体験×関係人口事業補助金1, 292千円、地域づく
り調査研究・インターンシップ応援事業補助金に800千円を計上し
ています。

続いて、23節には中小企業振興資金預託金6, 000千円を計上
しています。

それでは、中小企業振興施策につきまして、別途資料にて説明いた
します。

別途資料4ページをお開きください。

～ 別途資料4ページを説明 ～

予算書に戻ります。

次に、予算書88ページ、3目観光費は、予算額259, 948千
円で、前年度比68, 433千円の増額計上となっております。

先ず、地域おこし協力隊の費用として、1節報酬2, 408千円、
3節職員手当560千円、4節共済費481千円のほか、各節に必要
経費を計上しています。

7節では賞品費として報償費60千円、8節は観光事業に要する旅費

133千円、そのほか10節需用費では消耗品費や修繕料、飼料費など、10,315千円を計上しております。

11節役務費には広告料や浄化槽関係費用、建物災害共済費用3,633千円などの必要予算を計上しております。

次に予算書89ページ、12節委託料では、虹の森公園上流部の樹木監理委託料1,133千円、万年荘リニューアルに係る工事監理委託料4,400千円、養魚場の運営に係る淡水魚畜養委託料3,184千円、大門温泉配管滅菌委託料1,430千円、国立公園清掃活動委託料430千円、DMO設立支援委託料4,650千円、などを計上しています。

それでは、施設の指定管理関係を、別途資料にて説明いたします。

別途資料6ページをお開きください。

～ 別途資料6～10ページを説明 ～

次に、DMO設立支援関係を、別途資料にて説明します。

別途資料5ページをお開きください。

～ 別途資料5ページを説明 ～

予算書に戻ります。

次に、13節使用料及び賃借料1,994千円は、観光施設や看板の土地借上げ料のほか地域おこし協力隊関係の家屋及び自動車借上料が主なものとなっております。

14節工事請負費については、万年荘のリニューアルに関する工事費が合計で140,000千円を計上しております。

それでは、万年荘リニューアルの事業について、別途資料にて説明いたします。

別途資料11ページをお開きください。

～ 別途資料11～20ページを説明 ～

予算書に戻ります。

17節備品購入費では、同じく万年荘のリニューアル関係の備品購入費に10,000千円とその他の備品購入に300千円を計上しております。

18節では、各種協議会負担金や事業補助金を計上しております。

その主な内訳は、旅南予協議会負担金が1,823千円、奥伊予街道七駅物語事業推進協議会会費150千円、予土県境地域連携実行委員会事業負担金500千円、夏のイベント滑床まつりの開催費補助金2,030千円、地域資源を生かした観光振興事業を対象とした森の国観光交流促進プログラム事業補助金1,250千円、グリーンツーリズム事業の創業や環境整備支援のグリーンツーリズムキックオフ補助金1,000千円、松野町及び四万十地域の地域資源を活かした松野四万十バイクレース開催補助金2,400千円、などを計上しています。

それでは、滑床まつり開催費補助金について別途資料にて説明いたします。

別途資料22ページをお開きください。

～ 別途資料22ページを説明 ～

続いて、松野四万十バイクレース開催費補助金について別途資料にて説明いたします。

別途資料21ページをお開きください。

～ 別途資料21ページを説明 ～

以上で、歳出の説明を終わります。

次に、これまでの歳出予算に係る歳入の主なものについて説明いたします。

予算書20ページをお開きください。

13款1項3目、観光使用料として135千円を計上しております。
予算書23ページをお開きください。

14款2項5目商工費国庫補助金に、万年荘リニューアルに自然環境整備交付金として、60,993千円を歳入計上しております。

予算書27ページをお開きください。

15款2項7目商工費県補助金に、えひめ人口減少対策総合交付金として、278千円を歳入計上しております。

予算書29ページをお開きください。

16款2項3目、生産物売払収入1,800千円は、滑床養魚場の魚販売の収入です。

続きまして34ページをお開きください。

21款1項1目過疎対策事業債のうち、ハード事業分では、万年荘リニューアルに、86,200千円、ソフト事業分では、観光PR、交流促進事業に14,725千円の財源を充当しております。

以上でふるさと創生課所管分の説明を終わります。

よろしくご審議を賜り、承認いただきますようお願い申し上げます。

安西委員長
山田委員

担当課長の説明が終わりました。委員からの質問を許します。

まず観光産業の活性化を目的に、DMO設立されるというふうに私理解しとるんですけど、そのDMOというのが、我々も何回か聞いてイメージ的に分かってきたんですけど、そのDMOというのが、何か言葉として、観光ということにつながるというか、言葉としてですよ、そこをやっぱりDMOだけやなしに、例えば観光まちづくり法人とかそういう注釈をつけてもらって説明してもらったほうが一般的に分かるのかなという気がしましたので、その点と、もう1点は、JR予土線の維持ということで、先日、3月2日に予土線全線開通50周年記念ということで、中村知事さんほか、関係の首長さんが出席頂きまして、松丸域を中心に盛大に事業というか、式典が行われまして、私

も、本当は実際に見たかったんですけど、別の別の100周年の事業がありましたんで、ちょっとユーキャットで見さしていただいたんですけど、JRの存続についての考えるいいきっかけにはなったと思いますし、今後存続させるためにどのように、していくかというのは今からのことやとは思いますが、先ほど言いましたように我々の宇和島鉄道全線開通100周年、記念実施事業の中で、ちょうど3月2日に桜の植樹会も行いまして、奇しくも同じ日で、予土線の最終的な予土線線になるんですけど、その存続も含めた形の行事をさしていただいたんですけど、50周年記念ということで、我々がちょうど高校生時分から開通した全線開通したという思い出があるんですが、今後これを厳しい状況ではありますが、何とか存続するために、坂本町長中心に計画を立てられておられると思うんですけど、今後の見通しは難しいんですが、どのようなことをやりながら、また町民がどのような形で参画していったらいいのか、そういったことも含めて、また意見を聞かせていただいたらなというふうに思います。

井 上 課 長

すいません、DMOっていう分かりにくい、言葉でお伝えして申し訳ございませんでした。

これは観光まちづくり、の法人といいますか組織になりますが、私たちの考えとしましては、観光地づくりを目指すわけではなく、観光によって、それを切り口として、まちの課題を解決したりとか、新しい価値をつくっていくってところで、町を盛り上げていくってことを考えている法人、それをコントロールする法人を作っていくという考えを持っています。

したがって日本の場合、DMOの所管省庁が、観光庁なので、どうしても観光に視点が行きがちでございます。

また、日本全国で先行してできているDMOの中にはほとんど、旅行代理店機能を持っていたりして、旅行商品をつくっていくので、意外とそういったところで観光っていうのが目に、まず目に入ってくるんですが、私たちも、旅行代理店業務も将来的には獲得していきたい

と思っておりますし、この沿線パッケージで商品を作っていないといけないとも思っています。

予土線の利用促進とも関連するんですが、松野町の観光を考えていく際、松野町にいかにか滞在時間を延ばしていくかっていうのが第一義なんですけど、もう1点、考えていかなければならないのは、宇和島から四万十町まで、予土線沿線全体のことも考えていかなければならないと思っております。

その強みの一つとしては、各市町に釣りがあったり、山登りがあったり、カヌーがあったり、ラフティングがあったり、アユ釣りがあったり、松野町の場合キャニオニングがあったり、こういったアウトドアの商品がたくさんあります。

こういったものとJR予土線の移動をつなげていくっていうのが、松野町、ひいてはこの予土線沿線の今後の観光振興に大きな強みとなるんじゃないかと思っております。

先日、町長から後ほど説明させていただくと思うんですが、建家築の隈研吾さんと町長、会談された際にも、世界に誇れる路線だということもおっしゃっていただきました。

予土線自体も地域資源の一つだと思っております。

また、アウトドアと鉄道っていうのは、外国人を含めると非常に親和性の高い商品になると思っておりますので、こういったものを商品提供できる観光まちづくり法人をつくりたいと思っておりますし、あわせて、滞在時間がどんどん長くなって、最終的には移住していただけるような、町の施策の一つとして機能できるような法人をつくってまいりたいと考えているところなので、御理解頂いたらと思います。

JR予土線の利用促進に対してはもうこれ今、予土線利用促進対策協議会っていう5市町と愛媛高知両県で組織してる事務局を松野町のほうで預かっております。

会長は初代会長として、松野町長でございます。

今後ですね、JRのどうやってやっていくか、利用促進を図ってい

くかっているところの一つの施策だけ御紹介させていただきます。

これまで、地元でのイベント開催が、この協議会の活動中心だったんですが、今年から大幅にシフトしました。

変化させております。

やっぱり人口が多いところで、予土線を周知をする。

認知度を上げていくっていう、キャンペーンに重きを置いております。

今年度の1月4日から約8日間にかけて、松山で、ある玩具メーカーの、展示会があります。これは5万人ぐらい、人がいらっしゃるイベントなんですが、そこで、もともと乗り物好きの子供たちが集まるところで、予土線のPRをさせていただきました。

また、お得な切符っていうのも、JRと連携して商品化して、今、販売をしております。2日間乗り放題で、安く購入ができる切符です。

ぜひ、御利用頂いたらと思います。四万十グリーンラインフリー切符って言います。3月1日から10月1日まで御利用できます。もう窪川往復より安い金額ぐらいで発売していると思いますので、またJRのホームページと緑の窓口等で購入ができます。また、スマートフォンの中のアプリで買うこともできますので、ぜひ御利用のほうお願いします。

協議会としても数値目標を掲げて、利用促進を図っているところなので、ぜひ多くの方が乗っていただくようお願い申し上げます。

また、愛媛県のほうとしても、予土線利用促進に対して様々な政策を今回御用意していただいております。

ちょうど今、愛媛県のほうも県議会会期中なので、私の口からは、その詳細は今のところまだお話は控えておきますが、また近く、予土線関連の振興策について、公になると思いますので、注視していただいとつたらと思います。

坂 本 町 長

予土線について私のほうからも一言。

お願いやら、御報告をしたいと思いますが、予土線の魅力と

いいですか、その景観でありますとか、あるいはこれからのインバウンドを含めた可能性、そして、四国循環線の一部という位置づけ、もうこれは十分に議員の皆様も御理解頂いていると思います。

私が言いたいのはですね、鉄道というのは国がもう100数十年前から設置をしてきたと。国の都合で国鉄を分割民営化した、そして人口減少というのはその当時から分かってたことで、経営が悪くなった。これからその鉄道をどうするか地方とJRで相談しなさい、というのはね私は国として非常に、責任を放棄しているというふうに思っています。

私は、地元の町民の皆さん、特に高校生がまだJRを必要としている現実がある以上、とことん、国の方針には、反対していきたいというふうに思っておりますしその考えは、両県そして沿線5市町も共通のものだということをこの間、認識をすることができました。

なかなか経営状況が厳しい、これをJR四国の企業努力だけで存続をしなさいというのはしょせん無理な話です。

私はしっかりと国が当事者として、方向性を示し、例えばもう国策として、赤字ローカル線は要りませんっていう判断をするのだったら、それはそれで仕方ないと思いますけれども、そうでない以上、私は地元の要望を受けて、JR存続のために最大限の努力、悪あがきかもしれないけれども、今から続けていこうと思っております。

山 田 委 員

DMOの設立については内容的にも十分理解しましたが、先ほど言いましたように、町民の皆さんに、DMOとは何ぞやということが分かりやすい表現、で周知していただければいいかなと思います。

内容的には我々も望んでいる内容なので、十分にその点は、我々も協力をさせていただきたいと思っております。

それと予土線の件については詳細な説明、今後の取組についても、担当課長、町長のほうから力強い言葉を頂きまして、私も存続のを望む1人なんですけども、なかなか本当に厳しい状況なので、やっぱ官民一体となってそういう機運というか盛り上げをしていかないけん

<p>森岡委員</p>	<p>のかなというふうに思っていますので、我々ができることはまたやっていきたいなと思いますので、引き続き、存続に向けて、またよろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>今ほど、山田委員が言われた、JRの駅のことでもちょっとお伺ひしたいんですが、お伺ひというか、お願ひというか、ここで今ほど駅ピアノでメロディーラインが一応管理もある程度まではしてるんですけども、行政のほうでも、保健課のほうかな月に1、2回ぐらい使っていたいておるようですが、一応、松野町の玄関口で少しでも、どういうんですか、松野町の活性化のために、またJRの発展のためにいう、存続のためにいう、立ち上がりがあったもので、そこで私が思うのが予算書に、教育委員会はあるんですけども、何でピアノの維持管理をの予算がないんで、これはぜひともちょっと高額な金額じゃないんでつけていただきたいなと思っております。</p> <p>それとですね、観光の部分で10節の需用費、ここで修繕費が55万ありますが、今ほど説明なかったんで、これはどういうことか説明していただきたいと思います。</p>
<p>井上課長</p>	<p>まず第1点目の駅ピアノでございますが、保健課で歌と体操とセットにしたイベントをやっていただいたり、日常的にあそこでよくピアノ練習している方がいらっしゃったり、ふらっと寄ったミュージシャンの方が何回か弾いてたくさんの人が集まったという事例も出ております。</p> <p>非常に、いい方向に転び始めたな転び始めたなというの言い方が悪いんですが、いい方向に動き始めたなあと思っております。</p> <p>とやかく行政が口出しはしないようにしながら、思っておりますが、維持管理、特に調律の部分、費用の出しどころを検討しながら、しっかりとせっかく弾いていただきますので、いい環境で弾いていただきますように調律はやっていきたいと考えているところです。</p> <p>費用の出しどころは工夫させていただいたらと思います。</p> <p>2番目に修繕料なんですけど、御存じのように松野町の観光施設、も</p>

	<p>うできてから20年ぐらい経過したところがたくさん非常に多く出てきております。</p> <p>特に虹の森公園の浄化槽とかですね、このあたりも結構費用がかかるんじゃないかなと予想しております。</p> <p>そのほか、温泉にしても、いつも配管とかにいわゆる温泉成分が付着をしますので、経常的にいつもお金がかかっております。</p> <p>そういったところを勘案しまして、今回、特に例年より多くの費用を計上させていただいております。</p> <p>年度によってはある程度まとまった金額になって、1個の施設でまとまったら大規模改修工事という、手法で1,000万単位とか2,000万単位でやるんですが、今回、そこまでの費用はかけられない状況、かけられないというか、集まらない状況でしたので、修繕料のほうで対応させていただいております。</p> <p>特に各施設の浄化槽であるとか、配管とあるとか、そういったところが修繕で各施設から拾い上げたものを積算させてもらっております。</p>
森岡委員	<p>1点目の駅ピアノの維持管理に関しては、ぜひともよろしく願いいたします町長。どうかお願いいたします。</p> <p>それと今の修繕なんですけど虹の森、これ前にも、どういうんですか、雑談のときに、町長もう舗装をあそこ直したらっていうことを言うた記憶があるんですけども、ちょっと段差があまりにもつき過ぎて、あれはやはり観光客の方にはちょっと不愉快の点が出てくるんじゃないかなと思っておりますのでその辺も含めて、修繕費はいろいろいろいろなとこの修繕を含めた合計金額ということでそれは理解しましたんで、なおかつひとつその点も、お願いできたらと思います。</p>
井上課長	<p>以前、御指摘を受けておる点でございますので、そういったところを含めながら、予算、御承認頂いた費用の中でできる限りのことを努めてまいりたいと思いますので、御理解頂ければと思います。</p>
坂本町長	<p>駅ピアノ本当に今いい感じで使ってもらってますんで、これの管理</p>

赤松委員	<p>につきましてはしっかりとやるのと、あと皆さんにもうちょっとPRして、いろんな人に聞いてもらいたいと思いますので、この点はここでお約束をしたいと思います。</p> <p>今の山田委員の質問の関連なんですけどDMOの設立支援補助金ということで、今ほど町長と課長との説明でおぼろげながら分かって概要が分かってきたんですがもう少し、お聞きしたいと思います。</p> <p>その中で事業の概要という資料の中で、法人の設立というのに、の中で組織体制や活動戦略について、今後は協議して決めていくという表現でございますが、今の段階でどのような組織体制や、また運営経費等も含めた活動戦略を想定されているのか。</p> <p>現段階での想定で説明を頂いたらと思います。</p> <p>それとその下のところに設立準備、組織の立ち上げということで、個人事業主等への委託を想定となっておりますが、これどういう意味か。この事業を立ち上げるのに、どっかに委託するというのか、組織を設立した法人を、個人事業主への委託をするという捉え方と、そこから辺もあわせて説明頂いたと思います。</p>
井上課長	<p>松野町のこのDMO、いわゆる観光まちづくり法人の今のところの戦略といいますか、機能といいますか、考えているところを御説明申し上げます。</p> <p>まずは、先ほど言いました松野町内のいろいろな観光の商品とか、事業者とか、その方々の商品をきちんと把握する。</p> <p>することですね、地域資源を把握する、それを、場合によってはみんなの魅力とか、おもてなしとかを、全体をレベルアップさせていくようなことの機能、そしてそれを横串を刺してつなぎ合わせて一つのパッケージの商品、いわゆる、2泊3日で4万8,000円といったような、商品をつくり上げていく。</p> <p>こういったことをまずやっていきたいと思います。</p> <p>これだけだと観光まちづくり観光に視点を置いた商品なんですけど、そこからですねやっぱり、松野町に来ていただくお客様っていうの</p>

は、一遍にドーンと来てお買物してさーっと変えるようなスタイルの観光のお客様をもありがたいんですが、できればですね松野町により長く滞在をしていただいて、松野町に最終的には移住をしていただくぐらいのことまで持っていきたいような、観光施策をこれから打っていきたいと思っています。

これが私たち今よく言ってるのは、観光以上移住未満のところを狙っていこうっていうところです。

それで、先ほどの観光の商品をつくったりする機能も要りますし、今度移住の方が増えてきたり移住を意識した部分であると。

今うちの地域おこし協力隊のメンバーがそれぞれ担っている移住相談であるとか、空き家を探していくとか、空き家がどこにあるとか把握するとか、いう機能とかも、できれば持っていきたい。

それを役場ではなく、そういった法人がやることによって、よりもう少し一歩踏み込んだ、移住相談もできるんじゃないかなと思っております。

一歩踏み込むというのはやっぱり民間組織になりますので、いろいろな資格や、等を有すればそういったことも紹介とかもできるんじゃないか、そういったことを今考えております。

松野町の特徴としては観光だけでなく、移住相談、移住につなげていくっていうところもDMOで賄っていきたいと思っています。

やはり一つの法人の設立を目指しているところです。

2つ目の質問にこの今の説明につながっていくんですが、その法人を担う人、プロパーさんをやはり確保しなければならないと思っています。

その方に対して、法人設立を今年度中に計画しているんですが、その前段階から約半年ぐらい前ぐらいからは、できれば確保していききたいなと動いてまいりたいと思っています。

その人に、法人立ち上げまでの準備を主に担っていただくために個人事業主への委託というところに入ってきていただきたいなと思っ

<p>赤 松 委 員</p>	<p>ております。</p> <p>その方が中心となって何人ぐらいの体制でやるかとか、行政も一緒になって考えていきたいと思っております。</p> <p>で、1番大事なところで、この法人を立ち上げた後にどうやって、どうやってこの法人を回していくかというのが1番大事なところなんです。全国の事例を見ますと、このDMOの組織でしっかりと自主財源だけで回している組織っていうのも、本当に数えるほどしかないというのが現状です。</p> <p>主に、今、いろんな施設の公の施設の指定管理を受けて、その指定管理料で組織を回して行って、あわせてそういった観光とかの機能を担っているというところが多くあります。</p> <p>そのほか、かつての観光協会のように、行政からの補助金をもらって運営しているところがよくあります。</p> <p>松野町のほうも、いかにこの組織が健全に回るかっていう、今後の資金繰りですね資金対策というのはしっかりと考えてまいりたいと思います。</p> <p>いろいろな法人がDMO、観光まちづくり法人が、いろいろな財源の確保の方法をやっております。</p> <p>中には、議員さんも今年の夏、茨城県の境町、行かれたと思うんですけど、一緒に行っていただいたんですが、あそこはふるさと納税の中間業者の機能で、ふるさと納税額の全体の8%ぐらい。</p> <p>もらって、DMOを回しているっていう話を聞いたと思いますが、そういったところも一つの財源確保の大きな一つだと思っております。</p> <p>そういったところをですね、これからしっかりと財源確保、なるべく、自主財源で賄えるようなことも考えながらやっていきたいなと思っております。</p> <p>今の説明で、もう1点法人を設立したときの出資金、出資はそれほどのように考えられておるのか。ちょっとお聞きします。</p>
----------------	--

井上 課長	<p>はい、現在のところですね、公益的機能も、持ち合わせた、法人になるっていうのがいいかなと思っております。</p> <p>例えばそれには一般社団法人であるとか、いうのがあるんじゃないかな、適したものがあるんじゃないかなと想定をしております。</p> <p>その中で営利を伴う活動がどんどん増えてくる場合には、別組織として、株式会社を、別に立ち上げるとかですね。</p> <p>そういった役割分担をしながらやっていきたいと思いますので、仮に一般社団法人であると、現在のところ、出資金、としては、ゼロでも立ち上げることが可能であるという考えを持っております。</p> <p>現在のところは、一般社団法人がいいんじゃないかなということで今部内とで検討しているところでございます。</p>
赤松 委員	<p>運営ことは私も詳しくはないんですが法人等立ち上げた場合には必ず運転資金もいるわけですよ。</p> <p>そういうことも必要になってくるんで、おのずと出資金も必要になってくるんじゃないかとも思うわけです。</p> <p>そこら辺もあわせて今の説明を受けておりましたら、やはり町の持ち出しも、必要なような説明もありました。</p> <p>今までもこの、観光等に合わせて、先ほど河川公園から触れ合い広場から、いろいろと町が指定管理をしておる、説明もありましたが、その1項目に入ってくるんじゃないかと思うんですが、ぜひ町が立ち上げた、そういう法人等に対して、なるべく町費が毎年、補填をしなければならぬようなことに極力、そういうことにならんような運営にもって行っていただきますよう、設立のときから十分な協議を願いたいと思います。</p>
坂本 町長	<p>御心配の町費の持ち出しがですね、無尽蔵に出せるわけではありませぬので、その点につきましては、町の財政がしっかりすることがこういったいわゆる関係の団体の育成といいますか健全な発展にもつながりますので、そここのところは、本分を間違えずに、しっかりと町の健全財政を維持しながら、いろんな施策に挑戦をしていくというこ</p>

山崎委員	<p>とは確認をしておきたいというふうに思っております。</p> <p>まず、町の中小企業振興資金のことなんですけれども、内容が今運転資金が500万以内、設備資金も500万以内、という内容だろうと思うんですけども、多分この金額ってかなり変わってないんじゃないかなというふうに思ってるんですけども、御存じのとおり物価高騰と、設備資金に関しましてもかなり高騰しております。</p> <p>この限度額を引上げてもらうことを検討していただきたいというのが1つと、それに応じてですね、今利子補給の金額が、10万円以内ですかね、限度額が、当然ながら貸付けの限度額も上がるんだったら利子補給の上限額も上げるっていうことを一緒にしていただきたいなというふうに思っております。</p> <p>その辺のことをまず、お聞きしたいと思います。</p>
井上課長	<p>現在のまずは中小企業振興資金の貸付け額の上限なんですけど、平成29年の3月議会で、設備資金運転資金とも500万円に改正した。</p> <p>今思い出しておるところです。</p> <p>その際に、利子補給の利用率等もアップさせてですね、なるべくゼロ金利になるように努めて制度設計をしたところなんです。</p> <p>と言いましても平成29年ですから今から約7年ほど前になるんですかね、9年間、9年ほど前になりますので、昨今の社会情勢や、企業様の活動の内容、それを勘案しまして、制度の見直し等の作業には着手せんといけないという考えを持っております。</p> <p>ただ、近隣の特に、創業支援計画っていうのを、実は松野町と鬼北町と愛南町と宇和島と合同で作っております。</p> <p>まずはこの4市町でどれぐらいの今制度設計をしているのかいうのをですね、すり合わせしながら、松野町がそこでまだ少し届いていないようでしたら、それを届けるような制度設計を考えていく、これは当然、財政出動も伴いますから、松野町の執行側で全庁体制で検討して、制度設計に取りかかっていきたいと思っておりますので、現在のところはそういう考えでいきたいと思っております。</p>

山崎委員	<p>今のところの考えは分かったんですが、金融機関とも町の振興資金の内容について、いろいろと話をすることも多いんですけど、ちょっと松野弱いっていう感覚を私受けてます。</p> <p>ほかの町村とぜひ比較していただいて、内容がうちが劣るという内容にならないようにしっかりその辺はいま1度見直ししていただきたいと思っています。</p> <p>それと金融機関ですねこれ、伊予銀が窓口になってると思うんですよ。</p> <p>当然ながら松野町内に伊予銀の支店があったというのが大きな理由だろうと思うんですけど今、町内に伊予銀の支店はございません。</p> <p>ということは、ひめ銀も含めて、やはり金融機関、両方選べるような状態にするっていうのが、健全じゃないかなと思っています。</p> <p>そのこともお願いしたいと思います。御検討してください。</p> <p>あと、お聞きしたいのが2人もDMOのこと御質問されたと思うんですけど、DMO当然ながら、前の質問のときにお聞きしたように森の国ネットとか、そういう部分の後継になるのかなというふうに思っておるんですけども、この間も言いましたけど、やっぱり人材ですね、人材がやっぱり全てと言ってもいいんじゃないかなというふうに思ってるんで、組織をつくる上でしっかりした人材確保というのが重要になると思いますんでその辺、ぜひお願いしたいと思います。</p>
井上課長	<p>やはり、山崎委員さんおっしゃったとおり企業は人なりでございます。</p> <p>人材確保ですね、非常にセンシティブなところなので、現状、今の状況をお伝えすることは差し控えておきますが、しっかりいい人材を確保できて、松野町の観光まちづくりを引っ張っていけるような方を、何とか、発掘、確保努めてまいりたいと思います。</p> <p>また本当、今、民間の企業の皆様、役場、そしてまちづくり松野、限らず全てにおいて、人材の確保っていうのが、非常に今、喫緊の課題になっているところです。</p>

<p>山 崎 委 員</p>	<p>何かそこもですね、ふるさと創生課としましては商工振興の業務を担っておりますので、その辺りもですね、何か、特定地域づくり事業協同組合だけでなく、何らかのちょっとアクションを起こさんといけんなどというのが、今喫緊の課題で感じているところなので、このあたりもあわせて、研究してまいりたいと思っているところです。</p> <p>またいろいろな情報とか、ありましたら、またいろいろな御支援をお願いしたいと思います。</p> <p>よろしく申し上げます。</p> <p>優秀な人材を確保していただきますようお願いしたいと思います。</p> <p>続いての質問なんですけど、万年荘の建て替えが、予定されておることなんですけど、最近の状況でよく建物等については高騰してて、不落だとか、入札が成立しないという状況がよく、身請けられるんですけども、この予算立てについて全く問題ないような予算を立てられているんだろうと思うんで、そこはしっかり予算立てしていただいて、そういう入札が不成立という状態にならないように是非、当然ながら、計画予算等も狂ってきますので、その辺もしっかりしていただきたいなというふうに思っております。</p> <p>それと、せっかく担当の方おられるんで移住の件なんですけど移住と空き家の件なんですけども、空き家のほうの対策は、おられるんでその辺の今の協力隊だとか、移住者が来たい、当然ながら住むところの確保というのは重要になってくると思います。</p> <p>その辺の空き家バンクとかそういうのももちろんあるんですけど、その状況等があれば、やはりそれ住みたい人がいいけどそれに賄う家がまだ賄えてないんだっていうような状況なのかもしれないし、それ以外の状況なのかもしれないんでその辺の状況等を教えていただいたらと思います。</p>
<p>井 上 課 長</p>	<p>若干総務委員会の内容で御説明させていただいた、総務委員会の内容ですが、あえてお話しさせていただきますと、空き家バンクに今も借り入れる家は何件か載せております。</p>

<p>山崎委員</p> <p>山石委員</p>	<p>いろいろ、役場として斡旋はできません。正直。</p> <p>ですが、空き家バンクでこういう空き家がありますよっていうことはホームページで載せております。</p> <p>建設課のほうでも、同じく空き家の調査とかやっております。</p> <p>これは危険住宅等の観点からも空き家の数とかは、把握していると思いますので、うちとしては空き家バンクに出たものであると、今、ホームページ登載している内容で、御覧頂ければありがたいです。</p> <p>で、今日なんかも早速ですね、午後とかに空き家バンクを紹介するような事例もあります。やっぱり住むところがやっぱり足りていないなあという状況であります。</p> <p>そのあたりですね、総務委員会の折にも御説明させていただきましたがいろいろな補助メニューもそろえてやっておりますので、なるべくですね、それを周知させていただきながら、住みたいときに進めるような施策を打っていきたいと思います。</p> <p>万年荘の工事費ですが万年荘の実設計終わっております。</p> <p>今の予算の範囲内でもう金額をフィックスさせていただいておりますので、こちらで許認可等が終われば、発注のほうの作業に移っていくということになる考えであります。</p> <p>やはり空き家の居住者の住むところ、移住者の住むところっていうのは重要なことだろうと思いますんで、今後も引き続いてしっかりと対応していただけたらと思います。</p> <p>稼ぐ力等ありますがやっぱり人が来なかったら稼げないので、万年荘も改修されるということですが万年荘改修されてそのままでは、人は来ないと思うので、改修に合わせてその辺を森林レクリエーション施設、みたいなものを作られまして、もう少し幅の広い利用を見据えて、子供から大人まで体験が可能なような施設にしたらどうだろうかと思うんですが、またそれに費用がかかればまた、森林譲与税税が使えるのであれば、またその辺も活用してもらって、そういう工夫をしてもらったらと思います。</p>
-------------------------	--

井 上 課 長

また、松野町は素晴らしいところいっぱいあるんですが、温泉、ガラス工房、おさかな館、滑床とあるんですけど、旅行というたら大体見どころと食べる所だと思うんですけど食べる所はないんですが、レストランにしてもメニューが全く少ないので、私らも、友達が来ても連れて行って食べるいうたってちょっとそういう、感じのところがないので、やっぱりそうなれば、調理をする人がいないからそうなるんじゃないかなと思うんですが、その辺、考えてもらって、松野町といえはうなぎうなぎですので、やっぱり自然のうなぎであれば年間なかなか難しいと思うんですが、値段も高いので養殖うなぎを利用して、ここに行ったら安いウナギが食べれるというようなことで人を呼ぶような、段取りをしてもらったらと思うんですが、その点どうでしょうかよろしくお願いします。

いろいろと色々な観光する場所、見どころの場所が松野町にはございます。

その中で一つあります川魚料理ですね、これがやっぱり非常に今後の強みになると思います。

業務計画の11ページにも、今年から項目出しをさせていただいたんですが、商工業の活性化と持続性の確保による地域づくりの中に、(8)番で、川魚料理の食文化継承と、新たな産業産品としての調査研究を今回出させていただきました。

川魚料理であるとか、カニの料理であるとか、芋炊きであるとか、またお母さんレストラン、で出されている、白和えであるとか、ぬたであるとか、ああいったものも立派に商品ですごく、よそから来た方は喜んで召し上がっていただきます。

こういったものもですねしっかりとですね、様々な団体機関の方と連携しながら、しっかり商品として育ててまいりたいと思っております。

またそういった商品をつくる際の支援事業としても、先ほど予算の中で御説明させていただいたんですが、森の国の特産品等のキックオ

フ事業、創業支援キックオフ事業がありますので、そういったところで資金的な面を支援していきながらやりたいと思います。

また特にうなぎ等に関しましては、町としても、行政としても、今の動向であるとか、何かうなぎを地域の商品として特産品としてできないかというところを主体的に考えてまいりたいと思っておりますので、またいろいろなアイデアであるとか、頂ければありがたいと思います。

最後に万年荘が新しくなりますが、周辺のいろいろな溪谷や山での商品、こういったものもしっかりとですね、つくってまいりたいと思います。

お子さんからですね、大人の方まで楽しめるような商品、そういったものも、研究してまいりたいと思います。

それを整備するにあたってまた、予算的なもの、費用がかかる際には、その費用をどうやって構えるか、で誰がやるのか。どこでやるのか。そういったところもですね、また議会のほうにも相談をさせていただきながら、やっていきたいと思っておりますので、まず今ある商品はどんなものがあるか、どういったものを新たにできればいいのかというもの、研究してまいりたいと思います。

また、いろいろと御指導をお願いいたします。

山 石 委 員

松野町は養魚場もありますので養魚場で膨らした魚を、レストランに水槽でも置いて刺身にしたり焼いたりして食べさすのもいいのじゃないかなと思うんですが、せっかく養魚場がありますので、それにはやっぱり調理人がいると思うんですが、調理人がおれば、いろんな幅広い料理ができると思いますので、その辺も考えてもらいたいと思いますので、よろしくお願いします。

安 西 委 員 長

他にありませんか。

質問が無いようであれば、採決に移ります。

ただいま審査しております、議案第12号について、原案のとおり御承認いただけますか。

安西委員長

(異議なしの声)

賛成全員です。

したがって、当委員会は、議案第12号「令和6年度松野町一般会計予算」、ふるさと創生課所管分については原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

令和6年5月2日

松野町議会産業常任委員会委員長 安西 博文